

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立和泉支援学校
校長名	芥川 豊和

開催日時	令和8年2月4日(水)10:00 ~
開催場所	大阪府立和泉支援学校
出席者(委員)	藤井会長、石田委員、奥林委員、菅野委員、柴田委員 (欠席 岸田委員)
出席者(学校)	芥川校長、大原教頭、橋本教頭、山本首席、野上首席・高等部主事 大野首席、松浦中学部主事、西村小学部主事
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会次第 ・令和7年度学校教育自己診断 ・令和7年度授業アンケート ・令和7年度学校経営計画(案) ・令和8年度学校経営計画(案)

議題等(次第順)

- ・令和7年度第3回学校運営協議会次第
- ・令和7年度学校教育自己診断の結果と分析
- ・令和7年度授業アンケート
- ・令和7年度学校経営計画(案)
- ・令和8年度学校経営計画(案)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

(協議1)学校教育自己診断の結果と分析について(報告)

- 保護者アンケート
- ・性教育は全学部で実施しているが、保護者への情報発信が十分でない可能性がある。
 - ・施設・設備について、校舎の老朽化や児童生徒数増加による教室環境が課題である。
- 教職員アンケート
- ・働き方改革、ICT化、会議の工夫により、協働意識や日常的な話し合いが促進された。
 - ・キャリア教育や保護者への発信については、取組と評価に乖離が見られる。
- 授業アンケート
- ・一時的に肯定的評価がやや低下した時期があったが、今年度は上昇傾向にある。懸念点として、「学習内容がお子さんに合っているか」という項目の評価が、引き続き下降傾向にある。各学部で取り組んではいないものの、人数の増加により対応が難しくなる側面があると考えられる。

(協議2)令和7年度 学校経営計画の取組と成果について(報告)

- ・キャリア教育、自立活動の3か年計画に基づく取組が進展した。
 - ・保護者・教職員の肯定的評価はともに向上した。
 - ・授業スタンダードの整備、研修の充実、ICT活用が進んだ。
 - ・防災・防犯、通学バスの安全対策、ヒヤリハット事例の共有を実施した。
 - ・地域支援・センター的機能として、巡回相談、研修を実施した。
- 委員からの意見・助言
- ・次年度から本校での公開授業への参加を和泉市の特別支援コーディネーターの悉皆研修として位置づけたい。
 - ・インクルーシブ教育の推進において、支援学校の専門性を地域へ積極的に発信する必要がある。
 - ・交流及び共同学習については、小・中学校段階からの継続的な取組が重要である。
 - ・「いじめ等」に関する項目4で「わからない」と回答した保護者が一定数見られることについて→本校としては「いじめ見逃しゼロ」をスローガンに日ごろから職員会議や教員研修を通じて教職員の理解を深める取り組みを行ったり、定期的にアンケートを実施したりすることでいじめを見逃さない環境整備を進めている。

(協議3)令和8年度 学校経営計画(案)について(協議・承認)

- ・めざす学校像および中期的目標は、令和7年度の方針を継続する。
- ・教職員の働き方改革(時間外勤務720時間超ゼロ)を明確に位置付ける。
- ・授業スタンダードの取組を継続し、各学部で自立活動の実践事例(約30件)を収集し、事例集を作成する。
- ・児童生徒会活動を継続・充実させ、一人一人の教育的ニーズに応じた取組を進める。
- ・キャリア教育を軸に、自立活動や総合的な学習、進路指導等を含めた新たな教育課程の検討を開始する。
- ・防災訓練、自治体との連携、防災発生時の通学対応(バス・自転車等)を強化する。
- ・アレルギー対応や疾病対応、ヒヤリハット共有、関係機関との連携を継続する。

協議の結果

令和8年度学校経営計画(案)について、全会一致で承認された。

次回の会議日程

日時	令和8年6月2日(火)
会場	大阪府立和泉支援学校